

いのちについて。

平成 30 年度下関市いのちの日

歩と生きる



全校道徳
講演会

下関市立 長府中学校

講師
中谷加代子 さま

13時45分。



生徒の体育館入場が
始まりました。

この日、
長府中学校は、

全校道徳として、
全学年・職員が



体育館に集まり、
講演を聴きました。



『明日、4月13日は、
下関いのちの日です』

校長先生のお話



『この講演を通じて、

自分のいのちを大切にし、

いのちを大切にすることを

今一度、全校生徒で考えてもらいたい』

とのお話の後、

校長先生から講演者の紹介が

ありました。



お招きした講演者は、
中谷 加代子 さんです。



演題は、
『歩と生きる』。



『本当に大事なものから、

目をそらしてきたのでは？

人と人が支えあうこと、



人と人がふれあうこと。
自然に対してのやさしい気持ち。

『しあわせって思えること』





『生きているしあわせを、

いっぱい感じて、
生きてほしい』



『**自分**の力が
見えなくなったら・・・

思い出してください。

みなさんは、
そこにいてだけで
力があるんです』

と中谷さんの言葉は、
存在感を持って、私たちの心に
響きました。



等身大の人型オブジェ。

本人の写真と
メッセージ。

足下に靴。

それを『メッセンジャー』と呼んでいます。



講演を終えて。

生徒は教室に戻り、



胸の中に浮かぶ、様々な思いを、



書きとめていました。



あおく、

透き通るように、
どこまでも碧い空の下、

筆記用具の音が、
『いのちのゆくえとちから』を
奏で続けていました。

いつまでも、いつまでも。